

第4節 農業技術指導・教育

農事試験場の職員は農産物の改良などの試験を行うと同時に巡回講話を行うことも任とし、技術の普及指導についても、県農会と連携を密にして中核的な役割を果たした。

技術指導の方法は、講習講話、実地指導のほか農会が発行する徳島県農会報(毎月刊行、大正13年4月からは旬刊)を通じて試験成績等を普及するとともに、大正2年8月10日から徳島県立農事試験場内に徳島農事研究会を設置し、農家之葉(月刊)を刊行して農家に技術情報を提供した。また、大正14年度からは農家に園芸指導地事務所(大正14年4か所、大正15年2か所、計6か所)を設置して、従来試験によって得た結果を実地に応用するとともに、周辺農家に蔬菜栽培の奨励・普及を行った。このほか、大正2年4月から農会委託による町村農会技術員養成を行い、大正15年までに62名の講習生を養成した。

第7表 場員出張日(件)数

	講習講話	品 評 会 審 査	視 察 及 調 査	実地指導	そ の 他	計
大正元年	66 日	91 日	168 日	43 日	203 日	571 日
2	56	79	174	170	22	501
3	21	69	60	216	93	459
4	43	57	39	297	61	497
5	78	109	139	138	141	605
6	23	94	78	66	208	469
7	32	40 件	36 件	45 件	81 件	234 件
8	17	21	31	77	137	283
9	47	27	47	83	74	278
10	59	37	105	58	76	335
11	58	35	74	54	91	312
12	53	25	68	46	62	254
13	75	36	72	49	30	262
14	37	8	83	91	131	350
15	46	25	42	121	283	517

注 大正8年以降のその他には会議・視察を含む

第8表 場対応の状況

	来観人員	質疑応答 件 数
大正元年	4,838 名	873 件
2	4,956	978
3	5,697	960
4	1,261	354
5	1,238	144
6	2,119	92
7	1,068	172
8	975	181
9	2,004	165
10	2,825	202
11	2,439	285
12	2,680	278
13	2,762	662
14	2,730	501
15	3,372	525

文献

徳島県農会(1912～1926):徳島県農会報(第62号～第300号)

徳島県史編さん委員会(1967):徳島県史第6巻

農政調査委員会(1967):体系農業百科事典VI 三好昭一郎・猪井達雄(1975):阿波の歴史

麻名用水土地改良区(1977):麻名地区灌がい排水事業麻名地区概要書

農林水産省百年史編纂委員会(1981):農林水産省百年史・別 巻

農林統計研究会(1983):都道府県農業基礎統計